

都市再生整備計画(第2回変更)

き み つ え き き た ぐ ち
君津駅北口地区

ち ば 千葉県 き み つ し 君津市

平成28年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	君津市	地区名	君津駅北口地区	面積	400 ha
計画期間	平成24年度	～	平成28年度	交付期間	平成24年度	～	平成28年度

目標

目標: 君津市の玄関口であるJR君津駅北口広場における交通の円滑化及び君津駅の交通結節点機能の強化等により、安全・安心・快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・当該地区は、君津市の中心市街地に位置しJR内房線の北側と木更津市との市境に囲まれた地域であり、JR君津駅周辺には、市役所、警察署、郵便局などの公共施設や商業施設が集積し、地区内外の人が多く集まる地域となっている。
- ・君津駅の1日当たりの乗降客数は約9,000人で、市の玄関口としての機能を有している。
- ・君津駅北口及び南口は、昭和40年代に整備を行っているが、老朽化に伴い南側交通広場については、まちづくり総合支援事業により駅前広場の整備を平成14年度に実施し、利用者の利便性や満足度の向上に取り組んできたところである。一方、北口広場については、車や路線バスなどの利用者にとって交通結節点としての重要な役割を担っていることから、平成19年度からまちづくり交付金事業での整備に取り組んできたところであるが、未だ整備されていない。
- ・バスの運行経路が駅と駅西側に位置する人口集中地区（人見、大和田、神門地区）を循環形式としているため、目的地までの所要時間がかかり利用者の利便性が確保されていない。
- ・地区内には、街区公園11箇所、近隣公園1箇所、都市緑地1箇所、緩衝緑地1箇所の都市公園が整備されており、レクリエーション利用だけでなく、市民生活に潤いのある生活空間をもたらし、大気浄化等の環境保全効果や都市景観構成上の役割を果たすとともに災害時における避難場所を提供するなど、良好な都市環境を形成していく上で重要な要因をなしている。

課題

- ・君津駅北口広場が未整備であること等から、交通弱者等に対する安心・安全性の配慮や利用者の利便性に欠けている。このため、市の玄関口である君津駅の交通結節点としての機能強化等を図ることにより、駅周辺地区としての安心・安全、快適性に対する満足度をより向上させることが必要となっている。
- ・平成19年度から運行している既存コミュニティバスは、公共交通空白地区となっている君津駅西側の人口集中地区（人見、大和田、神門地区）を運行経路としているが、運行開始から経路等の見直しは行われていないため、本格運用に先立ち、平成24年度に利用者からの要望による利便性に配慮した運行経路を見直す社会実験を実施することによって、利用者の利便性を向上させるとともに、君津駅の交通結節点としての機能向上を図ることが必要となっている。
- ・地区北西部に位置する神門地区は、区画整理による整備がなされておらず、地区内に公園が未整備となっている状況である。このため、神門保育園の移転に伴い跡地を有効利用し、ふれあいの場の形成や多様化するレクリエーションへの対応、市街地防災性の向上を図ることが必要となっている。

将来ビジョン（中長期）

- ・中心市街地における都市ストックを活用し機能の再強化を行い、中心市街地に賑わいを復活させるため魅力ある都市空間の形成やまちづくりを推進していくための人材づくりや市民ふれあい祭りなどの地域文化の継承及び創造等を推進していく。
- ・中心市街地である君津駅周辺に商業サービス、業務施設の集積を図り、都市の顔にふさわしい魅力と賑わいのあふれる多機能交流空間の形成を目指すとともに、広域的な商業サービス機能の高度化を促進する。
- ・水・緑・自然が息づくまちづくりを推進するため、日常生活に身近な緑の環境を整備し、ふれあいの場の形成を進めるとともに、多様化するレクリエーションに対応し都市公園等の整備を図る。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
君津駅利用者の満足度	％	北口広場整備に伴う利用者の安全性及び利便性の満足度	北口広場の整備により、既に整備した施設と併せた一体的な空間を創出し、駅及び駅周辺利用者の安全性及び利便性を向上させ、利用者の満足度向上を図る。	18	平成23年度	23	平成28年度
コミュニティバス利用者満足度	％	君津駅北口を発着するコミュニティバス利用者の利用満足度	コミュニティバス運行経路、便数及び運行時間を再検討し、利用者の利便性を向上させ利用者の満足度向上を図る。	36	平成23年度	40	平成28年度
生活環境の満足度	％	駅前広場、公園など都市的生活環境が整った快適なまちに対する地区住民の満足度	北口広場や公園等の整備により、快適で暮らしやすい都市空間を創出し、地区住民の満足度向上を図る。	23	平成23年度	25	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
・整備方針: 君津市の玄関口であるJR君津駅北口広場の交通円滑化及び交通結節点機能の強化と快適な都市空間の環境整備。 ●未整備の君津駅北口広場整備等を実施することにより、交通弱者に対する安全性の配慮や利用者の利便性を向上させ、君津駅の交通結節点としての機能強化を図り、快適な都市空間の環境整備を行う。 ●駅と駅西側に位置する人口集中地区(人見、大和田、神門地区)を結ぶコミュニティバスの運行経路等を再検討することにより、コミュニティバス利用者の利便性を向上させ、君津駅の交通結節点機能を向上させる。 ●神門保育園跡地に公園を整備し、ふれあいの場の形成や多様化するレクリエーションへの対応、防災機能の拡充を図る。	方針に合致する主要な事業 ・《基幹》道路(君津駅前広場(北口)整備事業) ・《基幹》公園((仮称)神門公園整備事業) ・《基幹》高質空間形成施設(君津駅北口広場シェルター整備事業) ・《提案》まちづくり活動推進事業(コミュニティバス運行事業) ・《提案》事業活用調査(君津駅北口市有地整備推進調査) ・《提案》事業活用調査(事業効果分析調査)
その他	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	398	交付限度額	159.2	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		君津駅前広場(北口)整備事業	君津市	直	車道整備 A=4,100m ² 歩道整備 A=3,800m ²	H25	H26	H25	H26	198	198	198		198	—
公園		(仮称)神門公園整備事業	君津市	直	A=4,400m ²	H25	H28	H25	H28	96	96	96		96	—
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設		君津駅北口広場 シェルター整備事業	君津市	直	S造耐久膜 H=3.5m、 W=2.5m L=85m	H27	H28	H27	H28	78	78	78		78	—
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										372	372	372	0	372	—

...A

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業														
事業活用調 査	君津駅北口市有地整備推進調査	君津駅北口市有地	君津市	直	—	H24	H24	H24	H24	2	2	2		2
	事業効果分析調査	—	君津市	直	—	H28	H28	H28	H28	5	5	5		5
まちづくり活 動推進事業	コミュニティバス運行事業	人見・大和田・神門線	君津市	直	—	H24	H26	H24	H26	19	19	19		19
合計										26	26	26	0	26
													合計(A+B)	398

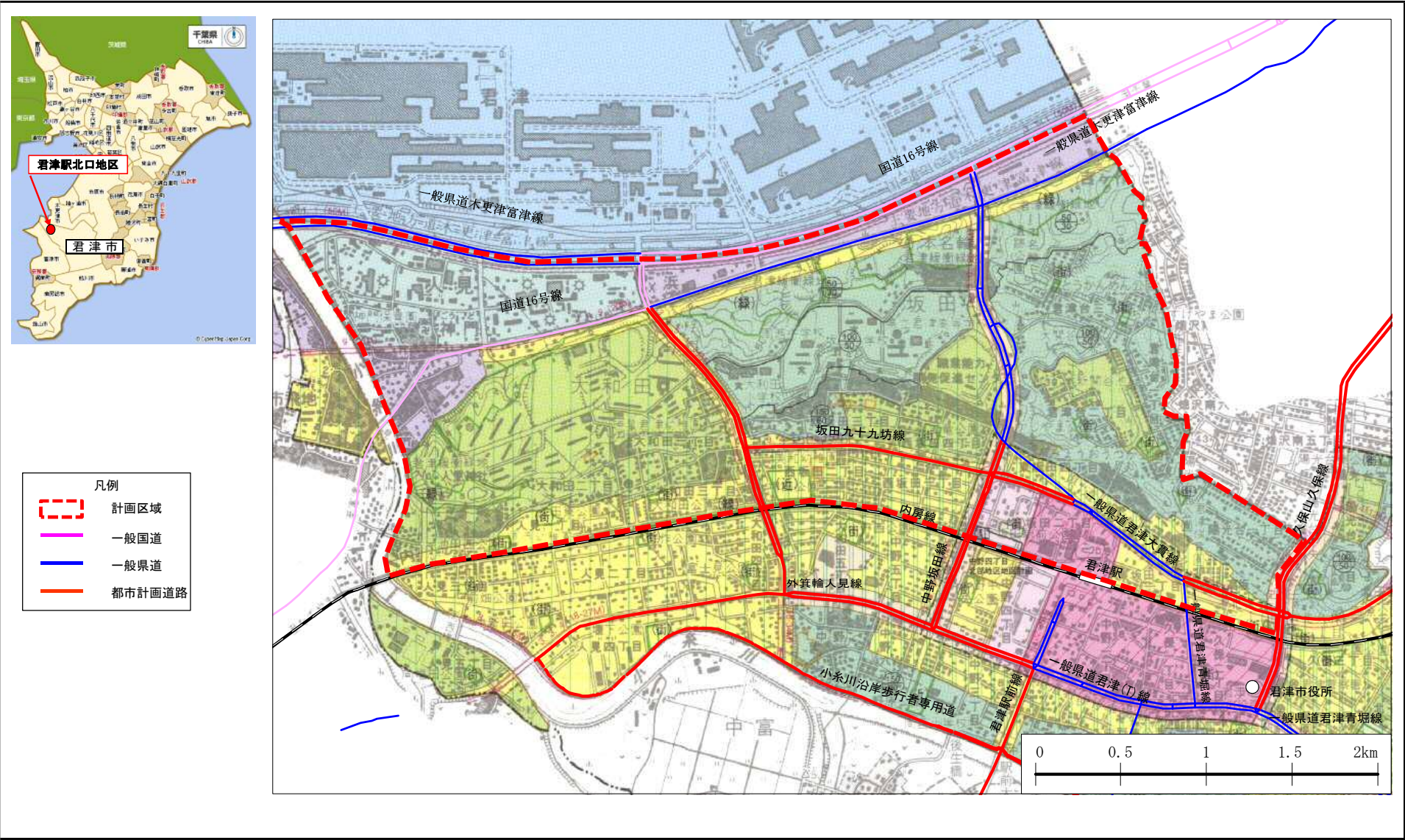
...B

(参考) 関連事業

[illegible]

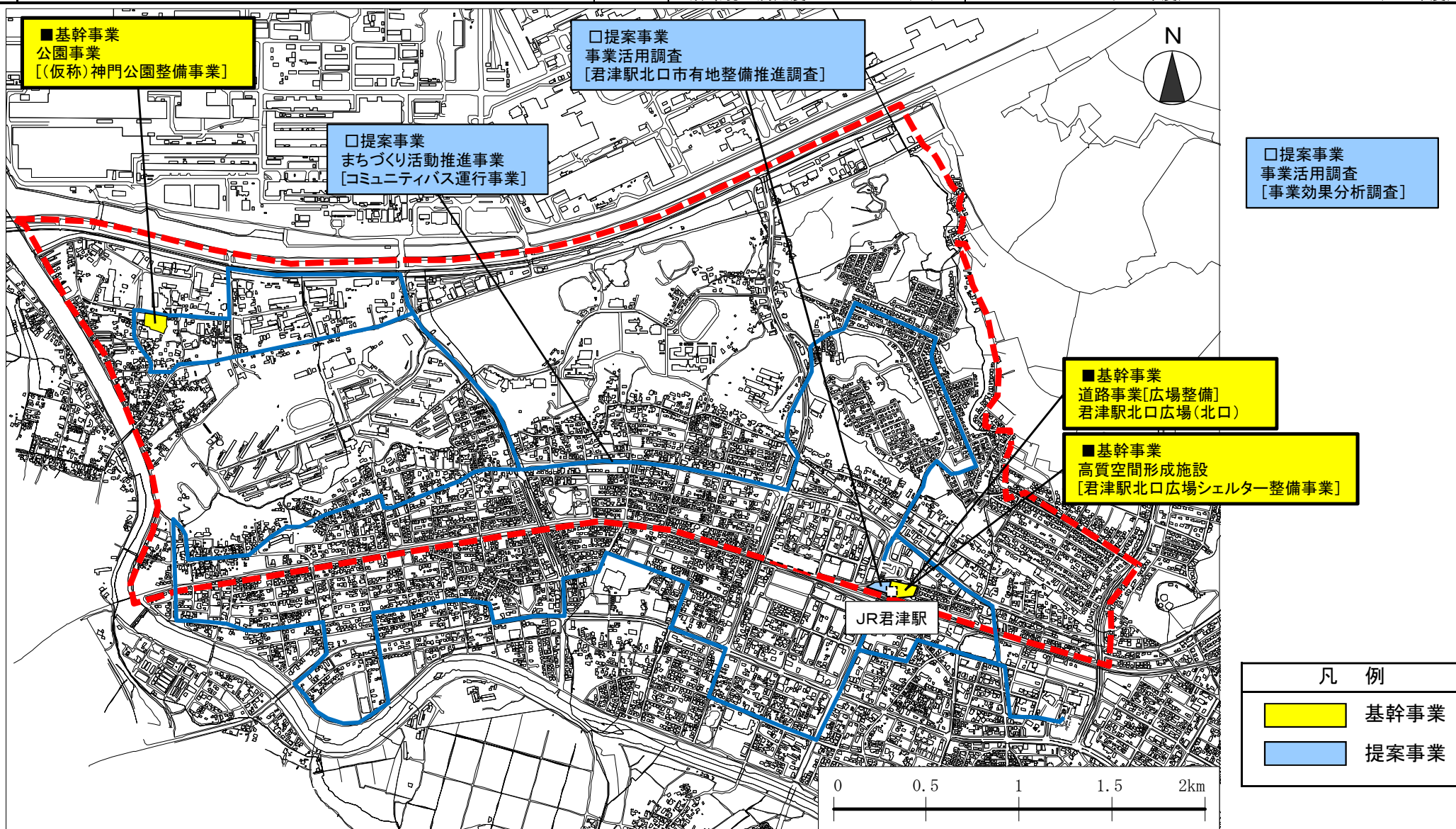
都市再生整備計画の区域

君津駅北口地区(千葉県君津市)	面積	400 ha	区域	大和田、北久保、君津台、高坂、坂田、東坂田、人見、西坂田、陽光台
-----------------	----	--------	----	----------------------------------



君津駅北口地区(千葉県君津市) 整備方針概要図

目標	目標: 君津市の玄関口であるJR君津駅北口広場における交通の円滑化及び君津駅の交通結節点機能の強化等により、安全・安心・快適性の向上を図る。	代表的な指標	君津駅利用者の満足度 (%)	18	(H23年度)	→	23	(H28年度)
			コミュニティバス利用者満足度 (%)	36	(H23年度)	→	40	(H28年度)
			生活環境の満足度 (%)	23	(H23年度)	→	25	(H28年度)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:都市再生整備計画(君津駅北口地区) 事業主体名:君津市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○